(介護給付費・訓練等給付費・特定障害者特別給付費・地域相談支援給付費) 支給変更申請書兼利用者負担額減額・免除等変更申請書

(宛先) 小金井市長

□地

談支援

定

着

域

支

援

次のとおり申請します。申請に係る住民登録資料、税務資料、介護保険、所得等に関する事項については、市の公簿等で確認されること、及び官公庁に調査を嘱託し、又は銀行、信託会社、私の雇主その他の関係人に報告を求めることを承諾します。

フリガナ 生年月日 年 月 申 氏 名 個人番号 請 者 居住地 電話番号() フリガナ 生年月日 年 月 H 支給申請に係る 個人番号 障害児氏名 続 精神障害者保健 療育手帳 疾病名 福祉手帳番号 被保険者証の記号及び番号(※) 保険者名及び番号(※) 障害基礎年金1級の受給の有無(就労継続支援B型のサービスを申請する者に限る。) 有 ・ 無 ※「被保険者証の記号及び番号」欄及び「保険者名及び番号」欄は、療養介護を申請する場合記入すること。 障害支援 有・無 区分 1 2 3 4 5 6 区分の認定 期間 障害福祉 ビス 関係サービス 利用中のサービスの種類と内容等 利用 要介護認定 | 有・無 | 要介護度 | 要支援() ・要介護 1 2 3 4 5 D が状況 利用中のサービスの種類と内容等 サービス 変更の理由 サービスの種類 区分 申請に係る具体的内容 介護給付費 訓練等給付費 □居 護 変 □重 度 訪 護 問 更 摇 護 護 動 を その □行 揺 □短 期 入 所 申 □重度障害者等包括支援 請 養 介 □瘠 □自立訓練 (機能訓練) す 口生 介 活 護 □自立訓練(生活訓練) る □宿 泊 型 自 立 訓 練 中 -活動 サ □就 労 移 行 支 援 □就労移行支援(養成施設) Ì 系 □就 労 継 続 支 援 A 型 ピ □就 労 継 続 支 援 B 型 支 □共同生活援助 (グループホーム) 居住系 □施 設 所 援 □地 域 移 援 地域相

サービス等利用計画又は個別支援計画を作成するために必要があるときは、障害支援区分認定に係る認定調査・概況調査の内容、サービス利用意向聴取の内容、市町村審査会における審査判定結果・意見及び医師意見書の全部又は一部を、小金井市から 指定特定相談支援事業者、指定障害福祉サービス事業者、指定障害者支援施設又は指定一般相談支援事業者の関係人に提示する ことに同意します。

申請する減免の種類	□ I 負担上限月額に関する認定 次の区分の適用を申請します。 (当てはまるものに○を付ける。いずれにも当てはまらない場合は空欄とすること。) 1 生活保護受給世帯又は支援給付受給世帯 2 市町村民税非課税世帯(※)に属する者 ※ 療養介護を利用する場合は、①又は②の当てはまる方にも○を付ける。 ① 利用者本人の合計所得金額及び障害者基礎年金等の収入の合計額が80万円以下のもの ② ①以外のもの 3 市町村民税課税世帯(障害者:所得割16万円未満、障害児:28万円未満)に属する者					
	□ II 医療型個別減免に関する認定 次のいずれにも当てはまるため、医療型個別減免を申請します。					
	〈20歳以上の方〉 1 療養介護利用者であること(年齢 歳)。 2 市町村民税非課税世帯の者			〈20歳未満の方〉 1 療養介護利用者であること (年齢 歳)。		
	□ III 施設入所者(注)に対する特定障害者特別給付費(補足給付)に関する認定(入所施設の食費等軽減措置) 次のいずれにも当てはまるため、特定障害者特別給付費を申請します。 (注)対象施設は、介護給付費の対象となる入所施設(障害者支援施設)					
	〈20歳以上の方〉 1 施設入所者であること(年齢 歳)。 2 市町村民税非課税世帯又は生活保護受給世帯の者			〈20歳未満の方〉 1 施設入所者であること(年齢 歳)。		
	□ IV グループホーム等入居者(注)に対する特定障害者特別給付費(補足給付)に関する認定(家賃軽減措置) 市町村民税非課税世帯又は生活保護受給世帯に当てはまるため、特定障害者特別給付費を申請します。 (注)対象事業所は、共同生活援助(グループホーム)					
	□ V 生活保護への移行予防措置(自己負担減免措置、補足給付の特例措置)に関する認定 生活保護への移行予防措置(□自己負担減免措置 □補足給付の特例措置)を申請します。 ※ 福祉事務所が発行する境界層対象者証明書が必要となります。					
いずれも、事実関係を確認できる書類を添付して申請すること。						
	申請書提出者 名 名	□申請者本人 □申請者本。		欄に記入) 		
	氏 名			中丽伯との渕栄		
	住 所	1		電話番号() —	